└ **呼応**（こおう）の副詞

例えば、次の例文は「もし」という副詞が使われているけど、どこか変なところがあるよ。

× もし明日、あなたが来られる、私はうれしいです。

↑この辺！　変だよね！

↓何か入れたいよね！

○ もし明日、あなたが来られる(　　)、私はうれしいです。

┆

「なら」、「ならば」、「としたら」、などが入るよね♪

この「もし」のように、それだけで使われるわけではなく、後ろのほうに「必要な語」も入れないとおかしい…

このような副詞が「**呼応**の副詞（陳述の副詞、叙述の副詞）」です。

└ 「もし」が「～なら（たら）」を**呼ぶ**んだよ！必要だから！(≧▽≦)

「～なら（たら）」は、「もし」に呼ばれて、それに**応じて**（答えて）出てくるんだね(^o^)b

呼応の副詞の例　：　おそらく（～だろう）　決して（～ない、～するな）　なぜ（～か）　など。

余談…

「全然」という副詞は、もともとは「全然（～ない）」という呼応の副詞なんだけど、

「全然大丈夫。」「全然いいよ。」「こっちのほうが全然おいしい。」

など、“～ない”という語を呼ばずに「全然」だけで使われることも、けっこうあるよね。

全然普通に使われるよね。←この文も、“～ない”は入っていないね(･▽･)

でも本当は、「全然問題ない。」など、“～ない”とセットで使うのが正しいんだよ。

たぶん、「問題ない」と「大丈夫」が同じ意味だから、「全然問題ない。」→「全然大丈夫。」と変化して

使われるようになったんじゃないかな。と、私は思うの。

（ ･o･）日本語はだんだん

変化していくんだね…　　国語の教科書や辞書の内容も、時代によって変わっていくんだね☆彡

※「全然」、国語辞典でぜひ調べてみて～！　何て書かれているかな？

✎ **練習問題** ✍ 次の文中の＿＿＿線の語が、どの語句を修飾する（どの語句につながっていく）かを探してみよう。　◇この「修飾」（つながり）の関係がつかめると、いろいろな文法（英語も！）を理解する助けになるよ(^o^)

・ この　大きな猫はとても重い。

この…何？　この…（　猫　）

大きな…何？　大きな…（　猫　）

とても…何？（どう？）　とても…（　重い　）

・ 四月のある日曜日、この日はよく晴れた穏やかな一日だった。私はよく日曜日には映画館に行くが、その日は友人たちと一緒に、小さなスケッチブックを持って、うきうきとピクニックに出かけた。

ある…（　日曜日　）　よく…（　晴れた（晴れる）　）

よく…（　行く　）　その…（　日　）

小さな…（　スケッチブック　）　うきうきと…（　出かけた（出かける）　）

◇赤は体言（名詞）、紫は主に用言（動詞・形容詞・形容動詞）だよ。そこから、＿＿＿の語が連体詞なのか副詞なのかもわかるね♪

✎ **練習問題** ✍ 上の問題の結果から、＿＿＿線の語が連体詞なのか副詞なのかを判断してみよう！

この：（　連体詞　）　大きな：（　連体詞　）　とても：（　副詞　）

ある：（　連体詞　）　よく：（　副詞　）　その：（　連体詞　）

小さな：（　連体詞　）　うきうきと：（　副詞　）

つまり、連体詞と副詞についてつかむためには、　◇◇　ふたばプリント　◇◇　体言と用言の違いをつかむことが先決だよ(≧▽≦)